

## 手術室内における麻酔用筋弛緩剤の紛失後の対応（再発防止）について

2015年3月31日  
公益財団法人 健和会  
健和会大手町病院  
院長 西中徳治

2015年3月18日（水）手術室内において、鍵付保冷庫に定数配置（15本）している麻酔用筋弛緩剤（商品名エスラックス静注 50mg/5.0ml）の残量数が1本不足した事象が発生し、地域の皆様、関係機関に多大なご迷惑をお掛けしたことを再度お詫び致します。

3月20日（金）に北九州市保健所および小倉北警察署に届出し、立ち入り調査にて受けた指導を踏まえ、管理方法の見直しを行い、下記の改善策を検討し再発防止に努めております。

今後、より一層の安全管理を徹底する所存です。

### <改善策>

- ①これまで手術室内の看護師2名により実施していた使用前点検に、薬剤師を加え、手術室看護師（当直勤務者とリーダー）と計3名で行う。  
\*薬剤を保管している場所で実際に管理本数を確認する。
- ②薬剤の使用状況や在庫状況が時間経過で確認できるよう、管理薬品使用台帳等の記録物を修正した。（従来は使用状況のみで在庫状況は最終点検で確認）
- ③業務終了後の在庫薬品点検を、看護管理責任者とリーダーと当直者（3名）で行うよう業務を変更した。（従来は日勤勤務者とリーダー2名で実施。）